

製品情報データシート

作成日：2025年2月13日

製造者

会社：大倉電気株式会社
所在地：〒350-0269
埼玉県坂戸市につきい花みず木1-4-4
担当部門：品質保証部
連絡先：049-282-7755

製品名 P 5 4 1 キンヒドロソ + フタル酸水素カリウム

試薬を安全かつ適切に取り扱って頂くために、該当する部品のデータシート（次ページ）をご参照し、取扱い時の注意事項をお読みください。

あくまでも取り扱い上の注意に関する参考情報を提供するものであり、いかなる保証をなすものではありません。



作成日：2020年05月18日

安全データシート**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称：

製品名称：キンヒドロン

SDS No.：6712-1

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：キシダ化学株式会社

住所：大阪市中央区本町橋3-1

担当部署：化学品安全管理部

電話番号：(06)6946-8061

FAX：(06)6946-1607

e-mail address：kagakuhinanzenkanri@kishida.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分 3

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

生殖細胞変異原性：区分 1B

発がん性：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1(中枢神経系)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2(腎臓、肝臓)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 1

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分：該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれ

発がんのおそれの疑い

臓器の障害(中枢神経系)

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(腎臓、肝臓)

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

**安全対策**

- 環境への放出を避けること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- 漏出物を回収すること。
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。

貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

化学物質

成分名	成分名[別名]	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化審法
キンヒドロン	-	<100	106-34-3	-	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。



眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避



「10.安定性及び反応性」参照

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

- 容器を密閉しておくこと。
- 直射日光を避け、換気の良い冷暗所(または暗所)で保管する。
- 遮光保存。

安全な容器包装材料

- ガラス
- ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

- 管理濃度データなし
- 許容濃度
(その他の無機および有機粉じん(第3種粉じん))
日本産衛学会 吸入性粉じん 2mg/m³
総粉じん 8mg/m³

ばく露防止

設備対策

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 洗眼設備を設ける。
- 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

- 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

- 物理状態：結晶または結晶性粉末
- 色：緑色
- 臭い：特異臭
- pHデータなし
- 沸点又は初留点データなし
- 沸点範囲データなし
- 融点/凝固点：169-172℃
- 分解温度データなし
- 可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
- 引火点データなし
- 自然発火点データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
- 蒸気圧データなし
- 相対ガス密度(空気=1)データなし
- 密度及び/又は相対密度データなし
- 動粘性率データなし

**溶解度:**

水に対する溶解度: 冷水にわずかに溶ける
n-オクタノール/水分配係数データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

光により変質するおそれがある。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

火源との接触。

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[会社固有データ]

(キンヒドロン)

rat LD50=225mg/kg

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[会社固有データ]

(キンヒドロン)

Category 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[会社固有データ]

(キンヒドロン)

Category 1

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[会社固有データ]

(キンヒドロン)

Category 1

生殖細胞変異原性

[会社固有データ]

(キンヒドロン)

Category 1B

発がん性

[会社固有データ]

(キンヒドロン)

Category 2

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]



[会社固有データ]
(キンヒドロン)
中枢神経系
[区分3(気道刺激性)]
[会社固有データ]
(キンヒドロン)
気道刺激性
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分2]
[会社固有データ]
(キンヒドロン)
腎臓、肝臓
誤えん有害性データなし
その他情報
粉状物質の一般的な有害性として、多量に吸入した場合に肺内に蓄積することによって、肺の繊維化及びこれによる咳、痰、息切れ、呼吸困難、肺機能の低下、間質性肺炎、気胸等の肺障害(じん肺の諸症状)を引き起こすことが知られている。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 短期(急性)
[会社固有データ]
(キンヒドロン)
Category 1
水生環境有害性 長期(慢性)
[会社固有データ]
(キンヒドロン)
Category 1
残留性・分解性
残留性・分解性データなし
生体蓄積性
生体蓄積性データなし
土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号：2811
正式輸送名：
その他の毒物、固体、有機物、N.O.S.



分類または区分 : 6.1
容器等級 : III
指針番号 : 154
特別規定番号 : 223; 274
IMDG Code (国際海上危険物規程)
国連番号 : 2811
正式輸送名 :
その他の毒物、固体、有機物、N.O.S.
分類または区分 : 6.1
容器等級 : III
特別規定番号 : 223; 274
IATA 航空危険物規則書
国連番号 : 2811
正式輸送名 :
その他の毒物、固体、有機物、N.O.S.
分類または区分 : 6.1
危険性ラベル : Toxic
容器等級 : III
特別規定番号 : A3; A5
環境有害性
MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 該当
MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止
生殖細胞変異原性: 区分1, 1A, 1B 該当物質
キンヒドロン
水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質
キンヒドロン
水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質
キンヒドロン
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法
毒物類 毒物 分類6 区分6.1
航空法
毒物類 毒物 分類6 区分6.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第61版 (2020年)
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>



JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	: フタル酸水素カリウム
製品コード	: 13071
会社名, 住所及び電話番号	: 小宗化学薬品株式会社 埼玉県行田市富士見町一丁目19番 048-556-6261
FAX番号	: 048-553-2515
メールアドレス	: info@koso-chem.co.jp
推奨用途	: 試験研究, 化学工業原料
使用上の制限	: 医療用品, 食品, 家庭用品ではありません。
制定年月日	: 1993年4月1日
改定年月日	: 2022年7月4日
整理番号	: 13071-7

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体	: 分類できない。
酸化性固体	: 分類できない。
金属腐食性化学品	: 分類できない。

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない。
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない。
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 分類できない。
急性毒性(吸入: 粉じん)	: 分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない。
呼吸器感作性	: 分類できない。
皮膚感作性	: 分類できない。
生殖細胞変異原性	: 分類できない。
発がん性	: 分類できない。
生殖毒性	: 分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない。
誤えん有害性	: 分類できない。

環境に対する有害性



水生環境有害性 短期(急性)	: 分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない。
オゾン層への有害性	: 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示	: 非該当
注意喚起語	: 非該当
危険有害性情報	: 非該当
注意書き	
一般	: 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。 使用前にラベルをよく読むこと。
安全対策	: この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋, 保護衣, 保護眼鏡, 保護面を着用すること。 粉じん, 煙の吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 環境への放出を避けること。
応急措置	: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察, 手当てを受けること。 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。気分が悪いときは医師の診察, 手当てを受けること。
保管	: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
廃棄	: 内容物, 容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
その他の危険有害性	: 情報なし。
重要な徴候及び想定される非常事態の概要	: 情報なし。

3. 組成及び成分情報



化学物質・混合物の区別 : 化学物質
化学名又は一般名 : フタル酸水素カリウム
慣用名又は別名 : 重フタル酸カリウム
濃度又は濃度範囲 : 99.0 %以上(フタル酸水素カリウム)
化学式(分子量) : $C_6H_4(COOK)(COOH)$ *FW* : 204.22
CAS RN® : 877-24-7
化審法番号 : 3-1272, 3-1342
安衛法番号 : 公表

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状
の最も重要な徴候症状 : 情報なし。

応急処置をする者の保
護に必要な注意事項 : 救援者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること。

医師に対する特別な
注意事項 : 情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水, 粉末, 二酸化炭素, 乾燥砂, 泡

使ってはならない消火剤 : 特になし。

火災時の特有の危険有害性 : 情報なし。

特有の消火方法 : 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周辺に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な
保護具及び予防措置 : 防火保護衣, 手袋, ゴム長靴及び空気呼吸器等を着用する。
防火保護具を着用し、風上から作業する。

6. 漏出時の措置



- 人体に対する注意事項, 保護具
及び緊急措置 : 全ての着火源を取り除く。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
漏出した区域にロープを張るなどして漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸収を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険でなければ漏れを止める。
不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学薬品廃棄容器に入れる。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものは、速やかに取り除く。
漏出物に接触しない。
排水溝, 下水溝, 地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置し、局所排気、全体換気を行うこと。
- 安全取り扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
飲み込みを避けること。
皮膚との接触を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

- 接触回避 : 酸化剤
- 衛生対策 : 適切な保護具, 保護衣, 保護手袋, 保護眼鏡, 保護帽を使うこと。
貯蔵ないし取り扱う作業場の整理整頓を図ること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。換気の良いところで保管すること。施錠して保管すること。



安全な容器包装材料 : ガラス, ポリエチレン, ポリプロピレンなど

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 日本産衛学会(2009年) 未設定
ACGIH(2009年) 未設定
- 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置し、周知させること。装置の密閉化又は局所排気装置を設置し取り扱うこと。
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 保護マスク, 送気マスクなどを着用すること。
 - 手の保護具 : 化学薬品に耐性のある材質でできた保護手袋を着用すること。
 - 眼, 顔面の保護具 : 保護メガネ, ゴーグル, 面体などを着用すること。
 - 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。
- 特別な注意事項 : 情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 結晶又は結晶性粉末
- 色 : 無色又は白色
- 臭い : 無臭
- 融点/凝固点 : 295~300 °C
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし。
- 可燃性 : データなし。
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし。
- 引火点 : データなし。
- 自然発火点 : データなし。
- 分解温度 : データなし。
- pH : 4(50 g/L, 20 °C)
- 動粘性率 : データなし。
- 溶解度 : 水7.4 %(20 °C)
エタノール, ジエチルエーテルに溶けにくい。
- n*-オクタノール/水分配 : 参考(フタル酸として) 0.10~0.41
- 係数
- 蒸気圧 : データなし。
- 密度及び/又は相対密度 : 1.64 g/mL(20 °C)
- 相対ガス密度 : データなし。
- 粒子特性 : データなし。



その他のデータ : データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : 酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的な安定性 : 通常条件で安定である。
危険有害反応性 : 情報なし。
避けるべき条件 : 高温及び直射日光
混触危険物質 : 酸化剤
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : ラットLD₅₀>3200 mg/kgより区分に該当しないに該当するとした。
経皮 : モルモットLD₅₀>1000 mg/kgより区分に該当しないに該当するとした。
吸入(ガス) : 分類対象外のため区分に該当しない。
吸入(蒸気) : 情報が不十分なため分類できない。
吸入(粉じん) : 情報が不十分なため分類できない。
吸入(ミスト) : 分類対象外のため区分に該当しない。
皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚に対する刺激性は少ないことから区分に該当しないに該当するとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 情報が不十分なため分類できない。
呼吸器感作性/皮膚感作性 : 情報が不十分なため分類できない。
生殖細胞変異原性 : 情報が不十分なため分類できない。
発がん性 : 情報が不十分なため分類できない。
生殖毒性 : 情報が不十分なため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 情報が不十分なため分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 情報が不十分なため分類できない。
誤えん有害性 : 情報が不十分なため分類できない。

12. 環境影響情報

生体毒性

水生環境有害性 (急性) : 情報が不十分なため分類できない。



- 水生環境有害性 (長期間) : 情報が不十分なため分類できない。
- 残留性・分解性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 生体蓄積性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 土壤中の移動性 : 情報が不十分なため分類できない。
- オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を依頼する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 非該当
- 海洋汚染物質 : 非該当
- 国内規制
- 海上規制情報 : 非該当
- 航空規制情報 : 非該当
- 陸上規制情報 : 非該当
- 特別な安全対策 : 運搬に際しては直射日光をさけ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

- 国内適用法令
- 労働安全衛生法 : 非該当
- 化管法(PRTR法) : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 消防法 : 非該当
- 船舶安全法 : 非該当
- 航空法 : 非該当
- 道路法 : 非該当
- 海洋汚染防止法 : 非該当
- 既存化学物質リスト
- アメリカ TSCA : 収載



EU EINECS/ELINCS : 212-889-4

EU REACH : 非該当

16. その他情報

参考資料 : 化学物質総合情報提供システム 独立行政法人製品評価技術基盤機構
化学大辞典 共立出版 (1963)
JISハンドブック48試薬 日本規格協会
17019の化学商品 化学工業日報社 (2019)
原料メーカーから提供されたSDS情報
等

免責事項 : 本SDSは弊社が信頼できるとものと判断した情報をもとにJIS Z7252:2019およびJIS Z7253:2019に準拠し作成したのですが、正確性を保証したり何ら責任を負うものではありません。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。

注意事項は通常の手続きを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いをお願いします。

本SDSの情報は最新を確保するために適宜更新致しますのでご了承下さい。

